

「創立30周年記念講演・祝賀会」開く

東京都保険代理業協同組合 「保険代理業者Credo」を作成



挨拶する井村収一朗氏

東京都保険代理業協同組合（井村収一朗理事長）は、10月28日午後3時から「創立30周年記念講演・祝賀会」を、損保・生保会社、日本代協、東京代協、日本青年会議所保険部会、全保連所属の協同組合の関係者ら約200名が出席し、東京・新宿の京王プラザホテルで盛大に開催した。同行事では基調講演の後、会場で発表された「保険代理業者Credo（信条）」に基づいたパネルディスカッションが行われた。

「保険事業の今を読む」

栗山損保協会常務理事が講演

第一部では、主催者挨拶として井村理事長が登壇し、「零細事業者としての保険代理業者が集まり5年近い準備期間を経て昭和56年6月15日に大蔵省関東財務局の認可を受けて、東京都保険代理業協同組合を6月25日に設立した。以来30年の年輪を重ねてきた」とし、

「その中で、草創期は東京都中小振興公社の受託事業や、健康保険組合を立ち上げその業務を行ってきた。そして平成10年に記念式典を開催し、これを契機に各地に組合設立の動きが活発化し平成10年に全国保険代理業協同組合連合会（全保連）が組織され現在に至っている」と経過を説明、そして最後に「組合創立時から見ると、流通構造の変化や少子化、保険行政・保険業法も変わり、当時と比べると保険代理業者

きたい」と挨拶した。その後、基調講演に移動り、損保協会常務理事の栗山泰史氏が「保険事業の今を読む」というテーマで講演した。栗山氏は、「過去の歴史という縦軸と現在という時代における外国を含む様々な制度を横断するという横軸、その縦軸と横軸の中にある時代があり、この時代を経て将来どうなっていくのか予測という形で時代は続いていく」と述べ、今を読むためには過去の検証が必要とし次のように講演した。まず、



講演する栗山泰史氏

と述べ、その底流に「自由化・規制緩和」があったとし、「従来の業界の横並び体質を是正するための顕著な例が機械保険連盟の解散で、自由化・規制緩和は思っていたよりスピードが速く、広い範囲に波及し深まった」と言及。そして98年の金融ビッグバンという金融システム改革が成立する中で、「ノンマリン代理店制度が廃止され、保険料、代理店手数料の自由化が起きた。またその過程で中堅生保の経営破綻や損保の再編があり、さらに自由化時代に対応するために新たな経営手法・コーポレートガバナンスという考え方も出てきた」とし、この中で「自由化・規制緩和」がもたらした影響として、各社の独自戦略とローコストオペレーションが重要になってきた。一方、代理店には顧客対応のための大型化志向の合併も起きてきた」と分析、この後、昨今の生損保会社の動向や、代理店、あるいは非対面募集会社が進出している状況を話した。

「自由化の中で行動するには義務が伴う」とはわかるが、ここで自分たちの仕事の性質・規範を突き詰めて見るのはいいかと考へ、これが形になったのが今回のクレドである」と説明した。このクレドのたき台を作った松本氏は、八代氏から相談されたことなどについて「これからの保険業界を良くしていくためにきちんとしていくべき場所が必要ではないかというお話には大変共感した。高々8ページの冊子だが、私を含め若手4名がたたき台を作った。その後まる1年吟味を尽くしてこれを作った。仕事を進めるなかで悩んで困った時にこのクレドを使っていただけい」とし、「個人保険を考えたとき、一般の消費者がわかる保険を目指さなければならぬ。そのためには標準化・共通化を徹底し、低コストによる安心・安全を提供することが損保にとって重要な流れ」と話した。

「今後の展開については、様々な選択肢があるだろうが、大事なことは顧客の情報を精緻に把握し顧客満足度の向上に取り組むこと」とし、そして「より大きなことは、代理店の人間性である。代理店の人間性」とし、「代理店の人間性」とし、「さらに保険業界に携わる多くの団体を伴ったことで、各々がスタートとして、様々な角度に広く展開していく礎となることを望んでいる」と述べた。

代理店の「自立」と「自律」

パネルディスカッション

続いて、「保険代理店の本質と精神」というクイズをベースにしたパネルディスカッションが行われ、泉秀樹氏（東京都保険代理業協同組合専務理事）がコーディネーターを務め、パネルに元金融庁監督局長松本忠弘氏（地域共創ネットワーク（代）代表取締役）、前日本青年会議所保険部会会長の松本一成氏（代）代表取締役）、全国保険代理業協同組合連合会会長八代元行氏（代）第一成和事務所代表取締役）の3氏が参加した。

「保険代理店の本質と精神」というクイズをベースにしたパネルディスカッションが行われ、泉秀樹氏（東京都保険代理業協同組合専務理事）がコーディネーターを務め、パネルに元金融庁監督局長松本忠弘氏（地域共創ネットワーク（代）代表取締役）、前日本青年会議所保険部会会長の松本一成氏（代）代表取締役）、全国保険代理業協同組合連合会会長八代元行氏（代）第一成和事務所代表取締役）の3氏が参加した。



泉秀樹氏(左)と八代元行氏



松本一成氏(左)と坂本忠弘氏

「代理店、とくに専業代理店は多岐にわたる。法令遵守の徹底ありきの現状が起。次の「保険代理業に

「代理店、とくに専業代理店は多岐にわたる。法令遵守の徹底ありきの現状が起。次の「保険代理業に

「代理店、とくに専業代理店は多岐にわたる。法令遵守の徹底ありきの現状が起。次の「保険代理業に

「代理店、とくに専業代理店は多岐にわたる。法令遵守の徹底ありきの現状が起。次の「保険代理業に

「代理店、とくに専業代理店は多岐にわたる。法令遵守の徹底ありきの現状が起。次の「保険代理業に

「代理店、とくに専業代理店は多岐にわたる。法令遵守の徹底ありきの現状が起。次の「保険代理業に

「代理店、とくに専業代理店は多岐にわたる。法令遵守の徹底ありきの現状が起。次の「保険代理業に

「代理店、とくに専業代理店は多岐にわたる。法令遵守の徹底ありきの現状が起。次の「保険代理業に

「代理店、とくに専業代理店は多岐にわたる。法令遵守の徹底ありきの現状が起。次の「保険代理業に